

情報連絡員総括表（2021年1月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○ 2021年1月のDI値は、前月との比較において「在庫数量」が改善したが、それ以外の8指標が悪化する結果となった。

主要三指標全てが-60.0以下となるのは5ヶ月ぶり。特に「売上高」「収益状況」の2指標においては、先月と比較してそれぞれ13.4ポイント、15.0ポイント数値を落とし、大幅に悪化した。「売上高」については12月も先月との比較において、マイナス20.0ポイント数値を落としたが、今月は更なる悪化となった。

新型コロナウイルスに対する認識について、政府と医療関係者の中で齟齬をきたし、国民に無用な混乱が起こっているとの政府批判の声が聞かれる。

○「製造業」では、前月との比較において「在庫数量」「業界の景況」が改善、「取引条件」が横ばい、それ以外の「売上高」「収益状況」を含めた6指標が悪化する結果となった。新型コロナウイルスの収束が見えないことから、来年度も現状が続くことを危惧する声が多い。教育情報研修事業を中心に取り組む組合にとっては、存続危機にもかかわって来るとのコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」が改善、それ以外の7指標が悪化する結果となった。

Go To キャンペーンの一時的停止と再度の「緊急事態宣言」発令により、飲食業、観光業等は大きな打撃を受けている。

建設業からは、受注の減少と資材価格の値上がりにより経営が圧迫されているとのコメントが多く寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2021年1月	-66.7	-18.6	-26.6	-30.0	-60.0	-35.0	-46.7	-16.7	-63.4
2020年12月	-53.3	-9.3	-21.7	-26.6	-45.0	-28.3	-43.3	-10.0	-58.3
増減	-13.4 ↓	-9.3 ↑	-4.9 ↓	-3.4 ↓	-15.0 ↓	-6.7 ↓	-3.4 ↓	-6.7 ↓	-5.1 ↓

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2021年1月	-70.0	-13.3 ポイント	↓	-63.4	-13.4 ポイント	↓	-66.7	-13.4 ポイント	↓			
	2020年12月	-56.7			-50.0			-53.3					
在庫数量	2021年1月	-3.3	-6.6 ポイント	↑	-53.8	-15.3 ポイント	↑	-18.6	-9.3 ポイント	↑			
	2020年12月	3.3			-38.5			-9.3					
販売価格	2021年1月	-20.0	-10.0 ポイント	↓	-33.4	-0.1 ポイント	↓	-26.6	-4.9 ポイント	↓			
	2020年12月	-10.0			-33.3			-21.7					
取引条件	2021年1月	-26.7	0.0 ポイント	-	-33.3	-6.6 ポイント	↓	-30.0	-3.4 ポイント	↓			
	2020年12月	-26.7			-26.7			-26.6					
収益状況	2021年1月	-56.6	-6.6 ポイント	↓	-63.4	-23.4 ポイント	↓	-60.0	-15.0 ポイント	↓			
	2020年12月	-50.0			-40.0			-45.0					
資金繰り	2021年1月	-33.4	-3.4 ポイント	↓	-36.6	-9.9 ポイント	↓	-35.0	-6.7 ポイント	↓			
	2020年12月	-30.0			-26.7			-28.3					
設備操業度	2021年1月	-46.7	-3.4 ポイント	↓	/				-46.7	-3.4 ポイント	↓		
	2020年12月	-43.3			-43.3								
雇用人員	2021年1月	-16.7	-10.0 ポイント	↓	-16.7	-3.3 ポイント	↓	-16.7	-6.7 ポイント	↓			
	2020年12月	-6.7			-13.4			-10.0					
業界の景況	2021年1月	-60.0	6.6 ポイント	↑	-66.7	-16.7 ポイント	↓	-63.4	-5.1 ポイント	↓			
	2020年12月	-66.6			-50.0			-58.3					

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
	繊維工業	0	3	0	1	0	0	0	1	0	3	0	2	0	3	0	2	0	3		
	木材・木製品	0	4	1	0	0	2	0	2	0	3	0	2	0	2	0	1	0	5		
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0		
	窯業・土石製品	0	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	2	0	3	0	2		
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	2		
	一般機器	0	4	0	1	0	2	0	2	0	4	0	3	0	4	0	1	0	4		
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0		
	輸送用機器	1	3	1	1	0	1	0	1	1	2	0	2	2	1	1	0	1	2		
その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1			
非製造業	卸売業	0	2	0	1	1	0	0	1	0	2	0	1	/				0	1	0	2
	小売業	0	4	0	3	0	2	0	2	0	4	0	4					0	1	0	4
	商店街	0	5	0	3	0	3	0	1	0	5	0	4					0	1	0	5
	サービス業	0	2	/		0	1	0	1	0	2	2	1					0	1	0	2
	建設業	0	3			0	3	0	4	0	5	0	2					0	0	0	4
	運輸業	1	4	0	2	0	1	1	2	0	1	0	1					0	1	0	3

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染者がでたことにより、自宅療養及び濃厚接触者は自宅待機となり、約2週間は出勤者が減少したことから、稼働引き下げを要したが、1月は稼働・売上ともに例年減少するので幸いにも大きな影響は無かった。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> 新規受注がほとんど無く稼働率は全体で6割程度という状況で、綿生地(浴衣用)の受注無しが続き、正絹及び麻が前年度比7割程度となっている。新型コロナウイルスの影響が長引きこのままの状態が続けば、来年度の売上げにまで尾を引くと予測される。
木材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> 売上げ対前年比がマイナス22%という厳しい状況。 新型コロナウイルスの影響により、県内製紙会社が会社更生法を申請し、木材チップを販売している当組合もその余波を受けており、経営環境は依然厳しい。
パルプ・紙	<ul style="list-style-type: none"> 自粛とGoTo事業の中止が重なり需要を押し下げ、前月より更に景況が落ち込んだ。厳しい状況が当面続くことが予測される。
印刷	<ul style="list-style-type: none"> 設備操業度は下がっており、印刷の売上げ以外をいかに創出するかが課題となっている。 競争入札案件は更に価格競争が激化し、採算の合わない価格となっている。印刷資材の値上がりが続いているが、印刷価格相場が上昇しておらず利益を圧迫している。
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> 長引く新型コロナウイルスの影響で設備投資が控えられている。対前年比で売上げが23%減少し、今年度の見通しでも25%減少の予測。 組合員は雇用の調整を行っており、来年度も回復できないことが予測される。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> 対前年比で売上げが7~8割程度まで回復してきたが、取引先の業種による格差が大きい。 業種によっては急激に回復しているが、総じて回復基調にはある。雇用人数は増加しているが、収益には逆効果である。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 新規引合が増えてきているが、業種によっては生産延期もある。状況は様子見のところがあるが、最終納期は変わらず期末集中となる可能性がある。 受注は中国、北米が主体であり、機械の据付け、検収に社員を派遣せざるを得ないが、新型コロナウイルスの影響から人選に苦慮している。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫は巣ごもり需要により大容量機種の販売が好調に推移しており、生産も大幅に伸長している。 家庭用エアコンの販売も堅調であり、生産も増産基調となっている。 業務用エアコンは海外向けが大きく伸びているが、国内向けも復調してきている。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 今後各組合が来年度の事業計画の作成準備に入るが、来年度も社会環境が本年度と大きく変わらないようであれば、教育情報研修事業を中心に取り組んでいる組合については存続の危機にもかかわって来ると思われる。 受注部品により企業間に繁閑の差は出ているが、全体としては昨年を上回る生産状況にある。但し、新型コロナウイルスの収束が見えない中、半導体調達の問題やミャンマーのクーデター等、先行き不透明な状況が続いており、次年度の事業計画策定に苦慮している。 受注量が少なく厳しい状況が続いている

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 出荷量は2ヶ月連続の大幅マイナスとなった。公共工事関連の需要が前月より低調に推移している。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店・観光業への卸売業者は危機的な状況である。
商店街	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス陽性者が増えており、来街者は減少している。 アパレル・飲食(イートイン)は厳しい状況が続いている。 先行きが不透明な中でいつまで耐え忍べばいいのか不安である。 年末・年始は観光客・帰省客が昨年に比べかなり少なかった。 当県には「緊急事態宣言」が発出されていないが、自粛ムードが高い。都市部では昼間の人出はあるようだが小さな町では動きが少なく、閉店時間を繰り上げるところが目立つ。

宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> GoToトラベルの一時停止、緊急事態宣言の発令により、順調であった年末年始の宿泊予約が6～7割のキャンセルとなり、多大な経済損失となった。 緊急事態宣言により全体の半数以上の宿泊施設が期間中の休業や断続的な休館をしなければならない状況となった。 かつてない来遊客の落ち込みであり、関連して宿泊施設への各種納入業者や観光施設等も大変厳しい状況である。
電気工事業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる再度のひっ迫の影響で、設備投資の減少にイベント需要の減少も加わり、工事受注が減少している組合員もある。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの収束が見通せない状況に加え、建築資材の値上がりもあり、民間建築工事は計画があっても先に進まない状況がしばらく続くことが予測される。 受注単価が安い上に材料価格が大幅に上昇して赤字となっている組合員が多い。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> 中国・韓国の景気回復と、自動車業界の景気が回復してきたことから、昨年末からスクラップ価格が高騰している。それにより資材価格が上昇し、利益が圧されている。 新型コロナウイルスの影響で設備投資の計画を延期する企業が多いことから、計画が実行されない状況が続いている。 春夏にかけて、多少の景況上昇材料はあるが、先行きは不透明。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> 「緊急事態宣言」が発出され、比較的順調であった飲料や食品などの生活必需品も荷動きが低調となった。 例年1～2月は荷動きが低調であるが、そこに荷物情報の減少が加わり、輸送トラックの空車が増加し、運賃が低下傾向となるなど悪循環が続いている。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの第3波により収支が悪化する中で、例年最も旅客需要が多い12月の対前年運送収入は、11月を5ポイント下回った。 年明けの「緊急事態宣言」により運送収入の減少に歯止めがかからず、前回の「緊急事態宣言」が発令された令和2年5月を下回る状況との声も聞かれる。

4. 中央会・行政への要望

商店街より

- ・商店街 特に飲食店は疲弊している。自粛に伴う補償の充実を求める。

小売業より

- ・事業者一律の助成ではなく、事業規模に見合った助成を要望する。

道路旅客運送業より

- ・公共交通機関として国から事業継続が求められる中で、燃料代や夜間の事業継続に必要な管理コストの公的負担や租税公課の免除など、経営を支える支援策の投入をお願いしたい。

その他

- ・新型コロナウイルスに対する認識について、政府と医療関係者の間で齟齬をきたしており、国民に無用な混乱が起こっている。未知のウイルスであり症例も研究もこれからと云う時に、国民に現状の真実を伝えない政策では批判は免れない。
- ・中央会においても、国民の生命・健康・安全が最優先課題であり、「経済活動の振興は安心安全が確保された後」と腹をくくって対応して欲しい。
- ・コロナ禍で旅行業をはじめサービス業はダメージを負っているが、元々経営はリスクがあり、そのリスクが現実となったと捉えるしかないのではないかと考える。助けるべきは事業者ではなく国民だと思う。

5. 主要三指標における DI 値の推移

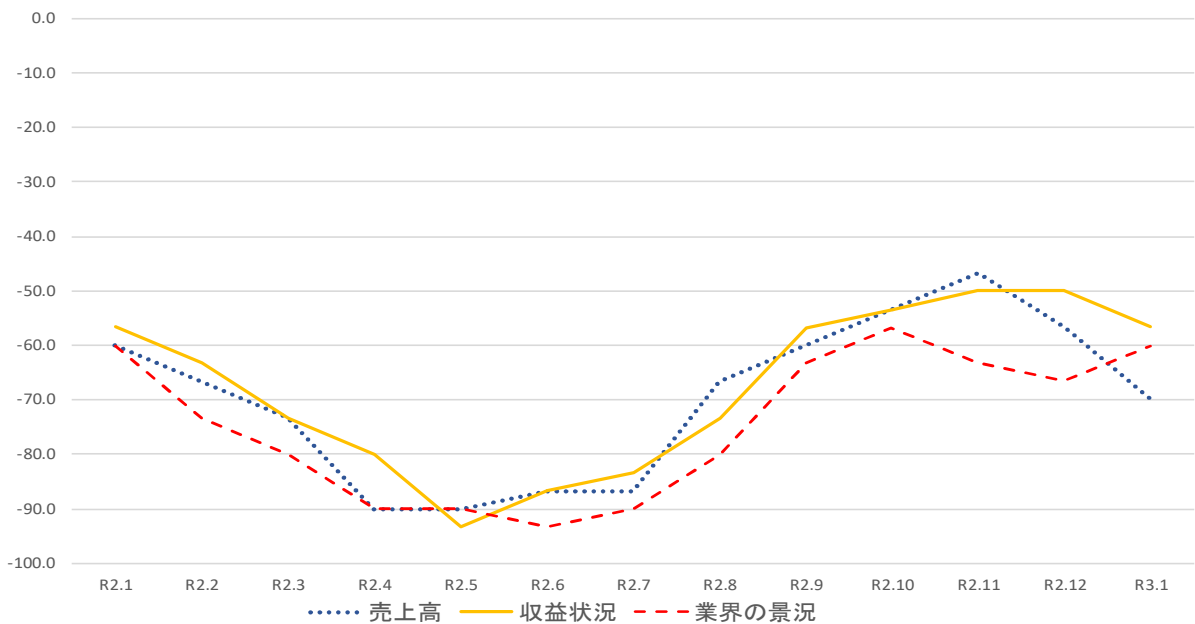
■2020年1月期～2021年1月期までの推移

全体	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1
売上高	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0	-60.0	-58.4	-38.3	-33.3	-53.3	-66.7
収益状況	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3	-66.7	-56.7	-33.3	-38.3	-45.0	-60.0
業界の景況	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0	-7.7	-56.7	-45.0	-50.0	-58.3	-63.4

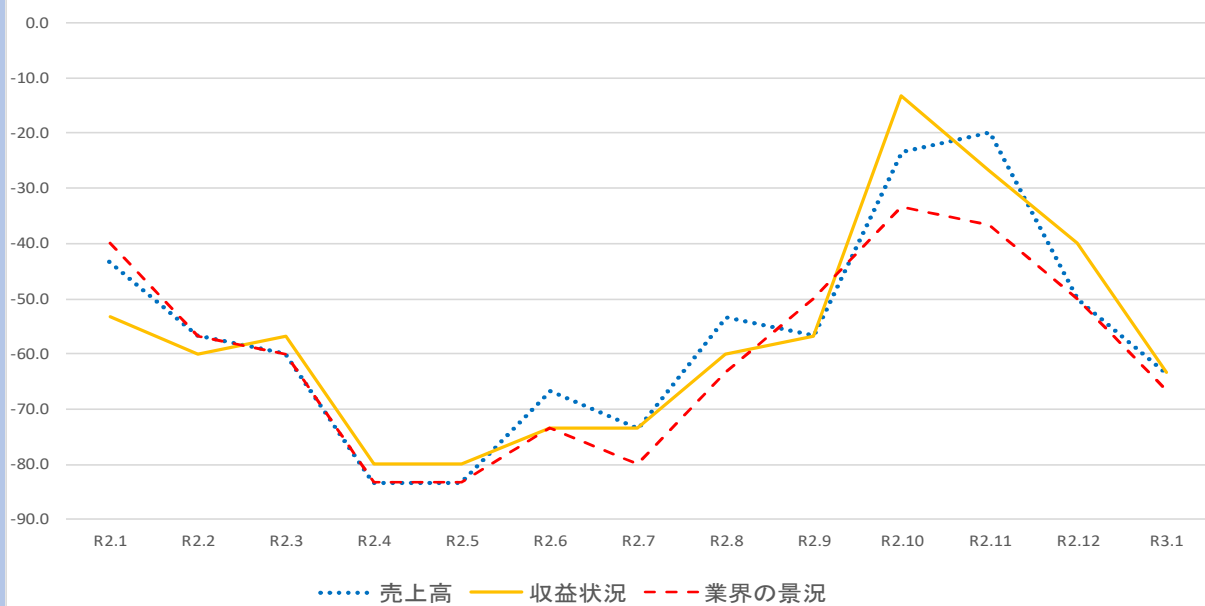
製造業	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1
売上高	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0
収益状況	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6
業界の景況	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0

非製造業	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1
売上高	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4
収益状況	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4
業界の景況	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7

【製造業 D I 値（前月比）】



【非製造業 D I 値（前月比）】



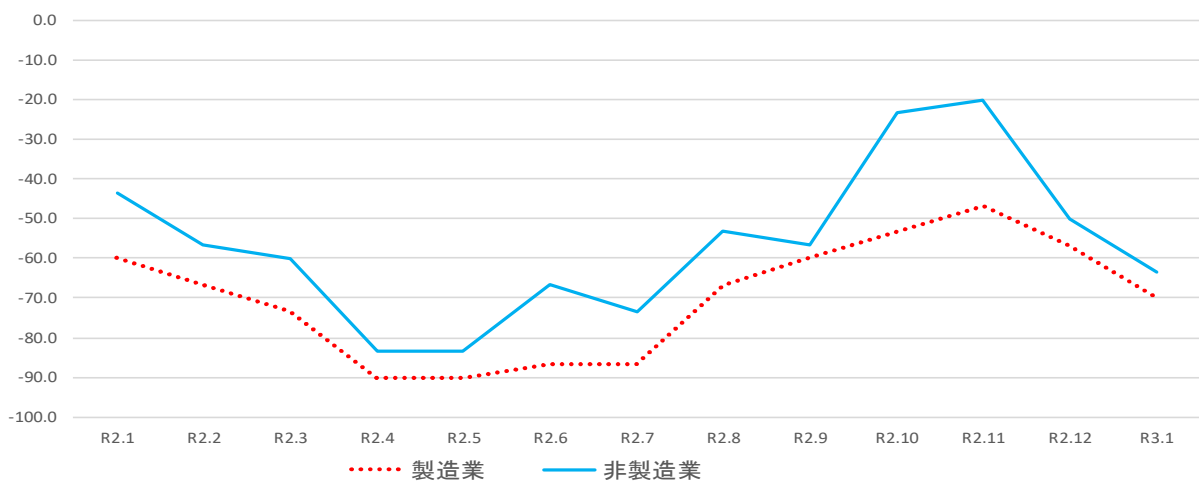
■ 2020年1月期～2021年1月期までの推移

売上高	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1
製造業	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0
非製造業	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4

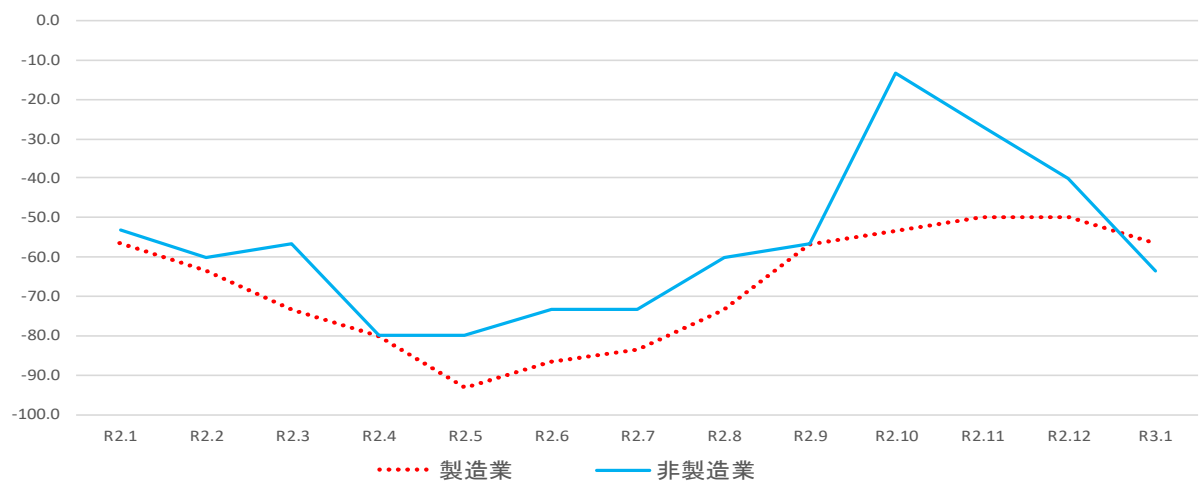
収益状況	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1
製造業	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6
非製造業	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4

業界の景況	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1
製造業	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0
非製造業	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】

